

公益財団法人福島県学校給食会経営ビジョン、中期経営目標（平成30年6月策定）《概要版》

《内部意思の認識の明確化、法人ガバナンスの考え方として策定》 ～策定後～→→ 確実な実行と適切な進行管理

1 経営ビジョン策定の背景

- 児童生徒数の長期通減傾向への対応
- 学校給食用食材に関する企業間競争激化
- 現有施設老朽化への対応
- 公益財団法人としての役割の再確認（民間企業との差違、公益性の証明）

2 10年後に向けた経営ビジョン

（1）学校給食の10年後の姿

- ①学校給食の普及
- ②学校給食対象児童生徒数の長期的通減
- ③学校給食調理形態の集約化
- ④学校給食公会計化、無償化
- ⑤AIやITの進化と環境変化

（2）本会のあり方、あるべき姿

- ①上記学校給食を取り巻く環境変化への対応
 - ・加工食品取扱いの強化（地産地消、付加価値）
- ②本会実施事業の再検証（必要性）
 - ・研修、助成、貸出、その他特色ある事業の円滑な実施
- ③本会のあり方、あるべき姿（存在意義）
 - ・設立目的「学校給食の円滑な実施と充実発展、食育推進」の役割堅持

（3）10年後に向けた経営ビジョン

- ～学校給食用食材提供と食育推進のプラットフォーム～
- 学校給食を取り巻く環境変化に的確に対応しつつ、公益財団法人としての役割を果たすため、学校給食総合センター機能の一層の充実を図る。
- 中期経営目標（5年程度）の確実な遂行と施設老朽化への対応を実行し、中長期的安定経営の礎を築く。

3 当面の経営方針（5年間の目標）

（1）公益財団法人としての公益性の向上

- ・食材の質的向上への対応
- ・食育への対応、支援

（2）法人としての存立基盤の強化

- ・低収益性と継続的事業運営の両立
- ・施設老朽化への中長期的かつ計画的な対応

（3）中期経営目標

- 第一：県内全域に良質、低廉、安全、安心、安定的な学校給食用食材の提供を目指す。
- 第二：地産地消、食文化、栄養バランス、アレルギー対応食品など付加価値食材の提供や食育活動への貢献向上を目指す。
- 第三：関係団体（機関）との連携の下、学校給食の普及充実、研修会など各種公益事業の計画的推進を目指す。
- 第四：法人組織の維持及び安定的な運営を図るため、中長期的かつ計画的に収支相償を確保する。
- 第五：施設老朽化への対応方針（改修、全面移転等）を適切な時期に機関決定することを目指す。

4 経営理念としての5つの柱《対外的な公約、メッセージ》

- ①安全で安心できる食品を、県内全域に、適正な価格で、安定的に提供します。
- ②地域の製造・加工事業者が協力し、顔の見える安心給食を提供します。
- ③栄養バランスのとれた質の高い食材や献立を研究・開発し、提供します。
- ④栄養教諭等の学校給食に関する研究・研修や教育活動等を支援します。
- ⑤学校給食情報の発信や国・県等の事業と連携し、学校給食の充実発展に努めます。



ふくしまの未来を担う 子どもたちのために

福島県学校給食会では、健全な心身の発達と県民の豊かな食生活の向上を目指しています。